

会長 阿部信一  
TEL 025-273-1572

事務局 井村健一  
新潟市北区すみれ野2-10-12  
TEL 025-259-7152

会報・編集委員会代表  
浅野亘寛  
長岡市金町2-2-17  
TEL 0258-52-3998

# 新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

## 第55回自然保護研修会報告

自然保護委員会副委員長 伊藤 直 (工友会)

第55回自然保護研修会が去る10月20、21日、村上市高根天蓋高原にある三面山岳会の遠山実さんの山荘を会場とし、赤羽正春さんを講師にお迎えして開催された。20日の日には山荘から鷲ヶ巣山や朝日連峰、眼前には天蓋山を望むことができ、研修会が清澄な環境の中、午後3時から始まった。参加者は34名であった。

原因してか、一般には未開の遅れた土地で何も無いところのように思われているが、実は、豊かな固有の文化を持つた少数民族達の暮らす地方で日本の文化の源流の半ば以上をも占めているのではないかということであった。遺伝学的に見ても日本人との共通遺伝子が多いのだという。

話や白鳥の羽衣伝説もあり、日本との共通性が見られる。これらはシベリアから日本へという流れを示している。現在、シベリアの少数民族はロシア政府の同化政策もあり、その独自の文化、言語などが失われつつある。その保存の為に活動している人達もいるという。

冒頭、県山協の阿部会長から挨拶と会場を提供して下さった遠山さんとの関わりについての話を受けた。引き続き、本間自然保護委員長が今

今回のお話はシベリアのハバロフスク近くの樹海に住む幾つかの少数民族の集落に調査に入られたときのものであった。この地方はシベリアでも闊葉樹林帯に属し、広大な樹海の中を幾筋もの信濃川のような川が流れ、原住民の案内無しでは歩けない、アムール虎も生息するデルスウザラの世界であるという。

例えは、黒曜石を木の棒に貼り付け刃具としたものが現地に出土するが、同じ物が北海道と新潟にも出土している。熊を祖先として神聖視したり、鮭・鱒を最も重要な食料とする生活様式などには共通性が有り、日本の文化の源流であると考えられるという。その影響は北海道に、興味深いことにはこの越後にも強く認められる。木をくり抜いて丸木舟を作る現場を見聞することができたが、舟の胴

体部を膨らませるために石を焼いて水を温め木を柔らかくして行っていたが、この方法は岩船地方のわっぱ煮の手法に通じるのではないかと、チヨウナ(手斧)を使って木をくり抜く方法にも共通性がある、等々。また、民話の世界でも北越雪譜にある熊と穴の中で一冬過ごした話や、三枚の札を使って災厄から逃れる



研修会にて

講義は講師自身の撮影されたスライドを映写しながら行われ、訪れた村の風習、民具、祈祷用具などが次々と紹介された。

熱っぽく語られるお話の中で特に強調されたことは、シベリアは旧日本軍の抑留などで良いイメージが無いことも

敗談なども披露された。報告書を現在作成中である。購入希望の方には1,500円程度でお分けしたいのでお申し

込み下さい、とのこと。  
 予定より少し早く、恒例の懇親会を開始した。21名の参加があった。自己紹介などを含め、いつものように大いに懇親を深め、翌日の天蓋山、吉祥岳登りが実施できることを筆者など疑うこともせず就寝した。  
 翌21日、明け方より雨、予想より早く降り始めた。出発時間になったが、雨が強まり、雷まで鳴り始めたため登山は中止することにした。山荘内で記念撮影をし、解散とした。一部の方々は雷雨おとして天蓋山などに登られたようである。  
 今回の赤羽先生の講義をお聞きして思うのは、日本海沿岸の大陸部は地理的に間近にあるにも拘わらず、その自然・文化などについて我々（筆者だけでも知れないが）はあまりにも無知であるということである。そして、できることなら同種同文のような人々の住む地を訪れ、その民俗・風習・文化を見、対話してみたいと思うようになってきている。

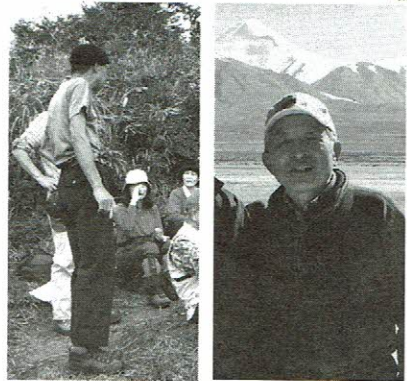
## 今秋 晴れの授章 山と自然保護・ 岳人の育成に日々精進

藍綬褒章に輝く

加藤 明文さん (むささび会)

自然公園功労者・環境大臣表彰に輝く

七澤 恭四郎さん (高田ハイキングクラブ)



指導中の加藤さん 東崑崙での七澤さん

長年その地域を自然保護の思想に基づき、その普及への尽力。登山者への献身的な安全指導に貢献された、藍綬褒章の加藤さん。自然公園功労者・環境大臣表彰の七澤さん。ともに岳人育成に尽力された、両氏の多くの功績が認められ、今秋の発表、授章となった。

### 賛助会員入会 ご入金のお礼

次の皆様から、ご入会、ご入金を頂きましたので、ご報告させていただきます。

\* 9月2日～10月27日現在のご入会、ご入金状況です。

市村 英明 (高田ハイキングクラブ) (敬称略)  
 新潟県山岳協会 会長・阿部 信一  
 理事長・遠藤 俊一  
 総務委員長・宮崎 幸司



www.hakkaisan.co.jp

八海醸造株式会社 新潟県南魚沼市長森1051番地 お客様相談室 025-775-3866

### 登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス



新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134 仲  
 営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm

### 登山・ハイキング・クライミング テレマーク&山スキー



パーマーク

長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)  
 TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164  
 \*営業時間/AM10:30~PM8:00水曜定休

http://www.parrmark.co.jp

# 平成24年度第1回理事会議事概要

日時 平成24年10月27日(土) 午後1時~同2時40分  
場所 上越市柿崎区水野 水野集落センター  
出席者 26名

## 1. 会長挨拶

中国遠征は、対日情勢が不穏のなか、成果を上げて、無事帰国が出来た。団体では、全種目参加できたが、昨年は、少年女子で8位入賞したが、今年は、少年女子の10位が最高であった。来年に期待したい。今後、各委員会の行事が協力の予定されているが、皆様の協力のものも、安全に無事に終了させたい。本日の議事、よろしく願いたい。

## 2. 議題

### (1) 平成25年度の各委員会において、検討を要する事業計画の有無について

総務委員会  
賛助会員へのお礼が何もないので、何か出来ないか検討願いたい。  
婦人部の活動は、今年度は日程がとれず、来年の計画の中で実施を検討する。

### 指導技術委員会

2月25日に開催した委員会で、今後の事業計画について協議をした。  
①日山協の公益法人化に向けた取組講習会を行う必要がある。  
②冬山講習会の会場について、新発田市でこの数年行ってきたが、他地区での開催を各地域の山岳会が協力を得てやりたい。  
③公認山岳指導員養成講習会は、岩登り講習会等と併催する。机上講習は、梅雨時に実施する。  
④指導員更新事業は、2013年10月更新からは、義務研修の受講が更新の要件となる。新山協ニュースに掲載するなど、出来る範囲で情報提供を行っていく。アンケート結果について検討したが、冬山講習会を23年度は、上越地区で実施する。新たな

技術講習会の実施の要望もあったが、新しい講習会は難しい。  
遭難対策委員会  
アンケート結果について検討した。やるべきものがマンネリ化しているとの指摘があったが、繰返し技術習得することが重要と考えている。未組登山者への講習会参加については、これからも開催案内をラジオ・新聞を通じて、周知して行く。  
道迷いが遭難で多いので、それらの対策を中心として講習会をしているが、冬山、沢登り、岩登り等の講習会について山岳会から要望があれば、講師派遣等を考えて行きたい。

### 自然保護委員会

従来座学から、実践活動に取組みたいと考えている。  
競技委員会  
少年男子の遠征費用のカンパご協力有難うございました。今年も団体全種目出場を果たしたが、これから一層の強化に取組んでいきたい。  
海外委員会  
個人個人が情報を旅行社やインターネット等から十分入手できるようなになってきている。情報提供する余地が少なくなってきた。一般的に情報を考えて行きたい。

### 会報編集委員会

9月号からとごおっているが、来年の2月には追い付きたいと思っっている。アンケートに基づき、各山岳会の山行記事を掲載して行きたい。登山道がなかなか集まらない。個人的にもアイデア等も寄せられているので、それらを取り入れて行きたい。その他の意見  
今後の県山岳協会のなかに、山岳会に加入してない未組織登山者や高校生等に対してもアプローチを

## 3. 報告事項

### 高体連

第56回全国高等学校登山大会が8月7日~11日の間、湯沢町で行われた。開催に当たり、新潟県山岳協会から、支援いただき感謝申し上げます。  
男子は新潟県中央工業高校が優勝、長岡大手高校が35位、女子は、新潟中央高校が第9位、長岡大手高校が21位の成績であった。県中央工業の優勝は特筆すべきものである。  
総務委員会  
賛助会員の募集は本日までで27名です。  
平成25年の新年会を1月26日(土)14時30分から、新潟市の第一ホテルで開催する。

### 指導技術委員会

日山協スポーツクライミング主任検定員養成講座に今井浩二氏、日山協アルパインクライミングB級主任検定員養成講座に永田栄一氏から受講してもらった。  
主任検定員が本協会に在ること、指導員養成講習会が開催可能となることから、今後、主任検定員講習の講習料、宿泊料、交通費を協会から支給すべきとの提案がなされた。協

していくことを考えていく必要あり。  
日山協の公益法人化を控え、世のため、人のための事業を考えて行く必要がある。  
山の日は6月第1日曜日になった。これをどう利用するか、考える必要あり。  
平成25年度開催の北信越団体山岳競技実施についての準備等について平成25年7月27日(土)~28日(日)に妙高の国際自然環境アウトドア専門学校において実施されるのが決定した。については、今後、準備委員会を立上げ、事前準備を進めたい。  
準備委員長、今井浩二競技委員長、準備副委員長、遠藤俊一理事長、準備委員 竹井康佑競技委員 井村健一事務局長、顧問 稲田春男副会長、森庄一副会長が提案され、承認された。

## 4. その他

議の結果、講習料、宿泊料、交通費を支給することとした。  
執行部で、交通費の支給基準を決定し、次回理事会に報告する。  
遭難対策委員会  
11月18日の救急法講習会の申込数が現在のところ少ない。各団体の会員に参加を呼び掛けて欲しい。  
事務局  
遭難対策積立基金の書替継続処理を行った。郵便局定額貯金4000円は4100円、717円、北越銀行定期預金4,636円、672円は4,663円、841円となった。  
広告料は1社、会費は6団体が発行年度未納となっている。  
日山協競技委員会ブロック別研修会の申込は現在9名である。多くの参加を望む。  
5 団体少年男子の遠征費カンパは、5団体、6個人から11万円でした。  
会長  
新潟県体育協会から「2020年東京オリンピック・パラリンピック」一招致に関する協力依頼があり、招致要請決議文を作成し、近日中に県体育協会に提出したい。  
10月7日豊栄山岳会が創立50周年を迎え、記念祝賀会に出席した。記念誌2,500円で配付している。  
矢筈山岳会が創立50周年祝賀会を予定している。出席予定。  
横山征平氏の事故報告書が関川村山の会から送付されている。  
第4回理事会開催の案内が来ている。この協議会参加は平成23年度第3回理事会で承認されているので、活動経費2,000円の負担があるが、参加して、クライミングウォールの設置を目指したい。  
その他  
下越山岳会佐久間氏から、赤谷林道一般車両の通行許可を得たい。去る10月13日新発田市市長と視察をしてきた。市長も興味を持っていられたようなので、市長あてに依頼をしていただきたいと要請あり。県山協、加盟団体で協力することとした。

## 協会加盟団体・役員へのメール配信一覧 9/28~11/14

配信日	内 容	送 信 元	取扱い・委員会
9/28	24年ぎふ清流国体のカンパ	県 山 岳 協 会	事務局
10/4	B級主任検定員養成講習会	日 山 協	指導技術委員会
10/10	24年度第一回理事会の件	県 山 岳 協 会	事務局
10/13	ヨネックススポーツ振興助成事業案内	県 体 育 協 会	事務局
10/24	24年度北信越5県会議案内	富 山 岳 連	事務局
10/26	24年度第1回理事会出欠状況	県 山 岳 協 会	事務局
10/29	第3回全国高校クライミング選手権	日 山 協	競技委員会
11/6	生涯スポーツ体力づくり全国会議		事務局
11/6	山岳指導員等の状況	県 山 岳 協 会	指導技術委員会
11/14	山岳指導員等の状況(新潟)	県 山 岳 協 会	指導技術委員会
11/14	24年度冰雪技術研修会(大山)	日 山 協	指導技術委員会

事務局長・井村健一 (025-259-7152) 競技委員会委員長・今井浩二 (0257-23-0961)

理事長・遠藤俊一 (025-265-4181) 副会長・森 庄一 (0258-72-2710)

海外登山委員長・小林重一 (025-260-1843) ジュニア委員長・稲田春男 (0255-36-3958)

指導技術委員長・嶋原哲也 (025-385-3678) 総務委員長・宮崎幸司 (0256-33-9441)

自然保護委員長・本間一人 (025-385-2225) 遭難対策委員長・井 春分 (0257-52-2437)

順不同

\*メール内容の問い合わせは取扱い・委員会、事務局でご確認下さい。

## 編 集 後 記

▲紅葉たけなわのころ、集落の河畔を歩いてみた。堤防から山腹にかけてススキの群落が見事なところで、ススキの間から飛び立つ野鳥の群れや、早くも北国から渡ってきた水鳥たちが賑やかに立ちさわぐ自然豊かなところだ。それにもまして晩秋の陽をあびて秋風にそよぐススキの穂波が好きだったのだが、カメラに収めようと思っていた私は、いつもと少し違う異変に気がついた。ススキの丈とあまり変わらない黄色い花をつけた、「セイタカアワダチソウ」が群落にせまっているのだ。心なしかススキの群落が毎年見るよりは狭まったような気がする。根強く、頑固で生気に溢れているとばかり思っていた、この地のススキの原が浸食をうけていたのだ。「セイタカアワダチソウ」の繁茂は全国で問題になっているのだが、場所によっては中間山地のまた奥まで生息地が広がっているのだそうだ。除去に精をだしているそうなのだが半端な戦略ではますます生息地広がるばかりだ。ごく近い将来だろうか、昔ながらの里山の風景がすっかり変わってしまうのは。▲秋も深くなりダイコンなど根野菜の収穫のシーズンになると料理番組などで必ず登場するのが「シャケ大根」「ブリ大根」だ。同類の食べ物では私たちの住むこの地では昔から「ベタ煮」をよく食べる。シャケはガラをつかい出来れば頭つきが良いがこの時期すぐガラは売り切れてしまう。あまり小さくなく、ほどよい大きさに処理したガラは一回煮こぼしてアクをとりながら時間をかけてゆっくり煮る。皮をむいたサトイモは切らずに其の俣、ダイコンは大きい乱切りに、他の根野菜は好みで人参など、やはり乱切りにして鍋に入れる。この時、使用する味噌の半分と酒を入れ1時間ほど煮て味を見る。大根から甘味が出るので味醂や砂糖は入れない。ガラが柔らかく食べられれば味見をして必要なら残りの味噌を加え煮る。概ね味噌汁より少し濃い位で、ダイコン、サトイモに味を馴染ませた方が美味しい。料理した翌日の方が味もしみて、世の諸々の問題も忘れるほどの幸福感にひたれる。

編集：浅野

ALways Security OK

**ALSO**K

新潟総合警備保障(株)

〒950-8633 新潟市東区小金町1-17-20

TEL 025-274-1965 FAX 025-271-3445

海外・国内旅行、主催・手配



ユニオン航空サービス

日本文化観光旅行協会第503号・JATA加盟店 (株) 日本旅行業協会会員

本社：新潟県長岡市幸町1丁目3番5号

<http://www.uks.co.jp>

○長岡営業所 〒940-0004 長岡市幸町1丁目3番5号 ☎ (0258)33-7123  
一級旅行業専任主任 倉 崎 誠

○新潟営業所 〒950-0918 新潟市中央3丁目2番11号 ☎ (025)246-2266  
一級旅行業専任主任 中 島 豊